

自然言語処理 —準備、Pythonリスト処理—

<https://github.com/satoyoshiharu/nlp>

予備知識

- Pythonのリストは、ほかの言語でいえば、配列のようなもの。Pythonは多次元リストデータを扱うことが得意というのが特徴なので、ビッグデータ処理やニューラルネットに活用される。
- Pythonは、パッケージライブラリが豊富というのが、別の特徴。パッケージはマニュアルを見ながら、使うものです。この課題集では、パッケージを使う以前の、Pythonの裸のデータ処理機能を扱っています。ここに慣れれば、あとが楽になります。
- インターネットにたくさんいい資料が載っているので、独自のスライド・動画はありません。以下によさげな資料をご紹介します。
- また、個々の言語機能に関し、課題のノートブックに、講師がよかったページのリンクをもろもろ張っておきます。

Python入門教材

- もしも、Pythonについて授業をとったことがない、初めてならば、以下などをざっとやるといいです。
 - [ゼロからのPython入門講座](#)
 - [Python入門](#)
- じっくりしっかりPythonを把握したいならば、
 - ★★★★★いまにゆのプログラミング塾：[【完全版】この動画1本でPythonの基礎を習得！忙しい人のための速習コース（Python入門）](#) ← おすすめ
- すでにPythonの授業をとっている方ならば、課題に取り組んでみて難しいと感じたら（これ、わかってないなという発見は大進歩）、以下のような網羅的な解説を利用して、関連個所を部分的につまみ食いして補強する、というやり方をお勧めします。
 - ★★★★★[Pythonプログラミング入門](#)、[ノートブック](#)、[PDF](#) ← おすすめ
 - [Python ゼロからはじめるプログラミング](#)

あくまで自分の目標とペースで

- 学習目標を、自分で、立ててから進めます。目標があるのとないのとで、脳の働きが大違いです。
- 学習は、腑に落ちてナンボです。焦らず、無理せず、自分のペースで、理解できたことを一つ一つ積み上げてください。

自分に向いたやり方？

- 勉強の仕方は、人により、向き・不向きがあります。課題集に取り組んでみて、時間がかかるようならば、今のやり方とは違うやり方をいろいろ試し、自分に向いたやり方を見つけてください。
 - 読むだけでなく、視聴覚教材(YouTube)で、**耳からの刺激**も利用する。
 - 基本的な題材を、指を使いながらHands-Onで試していく教材を見つけ、**指からの刺激**を使いつつ、抽象的な構文規則を**具体的なサンプル**で見えていく。
 - 同じ教材を、2度、3度とやる。
 - ……

確認クイズ

- Python_リスト処理_確認クイズ.ipynb で力を試してください。出力を指定しているので、それが出力できればOKです。